

## 7月の都内経済状況







営業開発部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		7月の都内の景気は緩やかに回復している。百貨店・スーパー・コンビニエンスストアの売上は、いずれも前年を上回ったが、乗用車販売は2ヵ月ぶりに前年を下回った。住宅着工は2ヵ月ぶりに減少し、公共投資も5ヵ月ぶりに減少した。輸出は13ヵ月連続で増加した。有効求人倍率は4ヵ月連続で上昇した。工業生産(6月)は2ヵ月ぶりに前月から増加した。4~6月期の設備投資、経常損益は、いずれも前年を上回った(関東、法人大企業)。
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は引き続き緩やかな回復が期待されるが、中国などの海外景気の下振れなどが今後のリスク要因となっている。
個人消費	百貨店売上高 	百貨店売上高は、梅雨明け後に暑い日が続いたこと、訪日外国人の増加、夏のセール時期を7月に遅らせたことなどから、前年同月比5.9%増と4ヵ月連続で前年を上回った(既存店ベース)。主力の衣料品が堅調に推移し、化粧品、美術・宝飾・貴金属は高い伸びを持続している。
	スーパー売上高 	スーパーの売上高は、前年同月比2.1%増と4ヵ月連続で前年を上回った(既存店ベース)。生鮮品の相場高を背景に食料品は増加したが、衣料品は低い伸びにとどまった。
	コンビニ売上(関東) 	関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比4.9%増と29ヵ月連続で前年を上回った(全店ベース)。梅雨明け後の気温上昇で、淹れたてコーヒーなどのレジ周り商材やソフトドリンクなどの加工食品が増加した。
	乗用車登録台数 	乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比▲2.0%と2ヵ月ぶりに前年を下回った。車種別では、普通車(同3.3%増)は4ヵ月連続で増加したが、小型車(同▲3.1%)は2ヵ月ぶりに減少し、4月から増税となった軽乗用車(同▲13.6%)は7ヵ月連続で2桁の減少となっている。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比▲1.3%と2ヵ月ぶりに前年を下回った。利用関係別では、貸家(同15.0%増)は増加したが、持家(同▲7.3%)、分譲一戸建て(同▲26.2%)は減少し、分譲マンション(同▲0.0%)はほぼ横這いだった。
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比▲9.2%と5ヵ月ぶりに前年を下回った。発注者別では、国(同53.0%増)、地方公社(同70.0%増)は増加したが、独立行政法人(同▲33.0%)、東京都(同▲22.2%)、市区町村(同▲1.0%)は減少した。
貿易(東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比10.5%増と13ヵ月連続で前年を上回った。主要地域別では、アメリカ向け(同19.4%増)、EU向け(同0.3%増)、中国向け(同14.1%増)、アジアNIEs向け(同8.9%増)、ASEAN向け(同15.5%増)がいずれも増加した。
設備投資(関東、大企業)		財務省「法人企業統計調査」関東財務局管内分大企業集計によると、関東の法人大企業(資本金10億円以上、金融・保険業を除く)の27年4~6月期の設備投資額は、全産業が前年同期比1.4%増、製造業が同1.8%増、非製造業が同1.2%増といずれも前年を上回った。
企業収益(関東、大企業)		同上調査によると、関東の法人大企業(同上)の4~6月期の経常利益は、全産業が前年同期比18.0%増、製造業が同34.1%増、非製造業が同11.0%増といずれも前年を上回った。
労働需給		有効求人倍率(季調値)は1.76倍と、前月から0.03ポイント上昇した。上昇は4ヵ月連続。先行指標とされる新規求人数は前年同月比▲0.6%と2ヵ月ぶりに前年を下回った。南関東の完全失業率は3.2%で、前月から0.2ポイント低下した。完全失業率の改善は2ヵ月連続。
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比4.5%増と10ヵ月ぶりに増加し、負債総額も同3.3%増と3ヵ月ぶりに増加した。1~7月累計の倒産件数は全体が前年同期比▲10.7%で、業種別では情報通信業(同▲0.8%)、製造業(同▲15.8%)、建設業(同▲32.2%)などが減少し、卸売業(同11.6%増)、サービス業(同6.0%増)が増加した。
資金需要(銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比5.7%増と47ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から1.1ポイント拡大した。増加幅の拡大は2ヵ月ぶり。

工業生産指数(季調値) ( )は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ( )は前年同月比%	消費者物価指数 ( )は前年同月比%	(一〇メモ) 低下が続く都内の失業率
4月 103.7 (▲0.5)	4月 106.4 (▲12.7)	5月 102.6 (0.5)	東京都が8月末に発表した、2015年4~6月期の都内の完全失業率は、3.5%(男性3.7%、女性3.3%)と、前年同期に比べて0.3ポイント低下した。就業者数は747万6千人で、同5万2千人(同0.7%増)増加し、完全失業者数は27万5千人で、同1万5千人(同▲5.2%)減少した。
5月 98.8 (▲7.6)	5月 110.7 (▲12.5)	6月 102.2 (0.3)	
6月 100.9 (▲3.2)	6月 119.2 (▲5.3)	7月 102.0 (0.1)	

\*工業生産指数・在庫指数、消費者物価指数は2010年平均=100。\*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨